

タイトル：着付けの小物の選び方
キーワード：着付け,着物,小物,選び方,色合い

着物は着つけるだけではあらず、小物もしっかり選んで着付けましょう。

伊らえり

きものとの調和と季節感を出す色選びをしましょう。
昔は上等な着物は重ね着を致す習慣があらざい、その名残で礼装用の着物の襟元を華やかに見せるために使われるのが伊ら襟であらざいます。
無地か地紋入りが一般的であらざいます。
濃いめの色をアクセントとして使い、着物を引き締めてみせたり、着物と同系色の薄い色を選んで、上品に仕上げることもできるでおじやる。
帯揚げや伊らじめの色とのバランスを考えながら選ぶとええやろ。

帯揚げ

着物に調和させるか効果色で選ぶかであらざいます。
帯揚げも帯と同じように、着物の格に調和致すものを選びます。礼装用の場合、基本は白であらざいます。総絞りや金、銀糸をあしらったものと豪華さを演出できるでおじやる。小紋や紬などカジュアルな装いのときは、帯揚げに個性を主張致す色をもってくるのもよいやろ。帯と着物に溶け込み過ぎないようにメリハリをつけるような色合わせを心がけましょう。

帯締め

色味だけではなく絞めるという実用性も大事であらざいます。
帯締めは、帯を押さえるためのものやからあらざいます。糸を組み合わせて作られた組紐であらざいますが、代表的なタイプとして、平らに組まれた平打ちとマルク組まれた丸組があるであらざいます。礼装用には見た目のボリューム感も大切であらざいます。色は白地に金銀をあしらったもの、平打ちなら幅の広いものを選びましょう。準礼装には淡い色を使った上品なものを絞めて帯と調和させます。
色味のはっきりしたものは全体を引き締めるアクセントになるであらざいます。

[PR]

[40代 基礎化粧品](#)

[30代 基礎化粧品](#)

[ぺたんこサンダル](#)